



2021年1月8日

各 位

会社名 トヨクモ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次  
(コード番号：4058 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 石井 和彦  
ir@toyokumo.co.jp

## kMailer による情報流出に関するお知らせとお詫び

トヨクモ株式会社が提供している kMailer において、kMailer を契約する別の弊社顧客の認証情報を使ってメールを送信してしまう不具合があり、メール送信時のお客様情報の一部がログ情報として流出した可能性がございますので、お知らせいたします。

お客様はじめ、多くの関係先にご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

現在も調査を続けており、今後新たな情報が判明する可能性がございますが、現時点で確認できた事実関係（2021年1月8日現在判明分）の概要は次の通りです。

### 1. 流出先として可能性がある弊社顧客

kMailer の SMTP サーバー設定として SendGrid を設定しており、SendGrid に二要素認証設定していた弊社顧客 18 社に対して、お客様情報の一部がログ情報として流出した可能性がございます。

弊社顧客 18 社が SendGrid にログインし、その後 Activity 情報でのみ確認できる情報であり、それ以外への情報の流出は現在確認されていません。

### 2. 流出した可能性があるお客様情報

#### ・ SendGrid 内の Activity 情報

- ・宛先のメールアドレス ※ 名前、本文は含まれません
- ・メールの件名 ※ 流出先のお客様が米国直接契約の場合
- ・受信者の IP アドレス、ユーザーエージェント

- ・受信ステータス
  - ・ **Processed** : メール送信を **SendGrid** が受け付けたかどうか
  - ・ **Delivered** : 受信側メールサーバーが該当メールを受け付けたかどうか
  - ・ **Bounce** : 受信側のメールサーバーに該当メールが拒否されたかどうか

- ・ **SendGrid** の設定で **Open Tracking** 機能が有効で送ったメールが **HTML** メールの場合、そのメールが開封されたかどうか

- ・ **SendGrid** の設定で **Click Tracking** 機能が有効な場合は、クリックされた **URL**

※ **SendGrid** 内の **Activity** 情報の保存期間は 1 週間。

流出先のお客様が米国直接契約の場合は 3 日間。ただし、長期保存のオプション契約をした場合は最大 30 日間

### 3. 流出した可能性があるメール送信数

流出した可能性があるメール、およびその送信数は現在調査中です。

### 4. 不具合の発生認識と対応の経緯

2021 年 1 月 7 日 (木) 16 時 51 分に、取引先より **SendGrid** の認証情報が意図せず共有・混在している可能性があるとの連絡を受けました。

弊社で調査したところ、**SMTP** 設定の「サーバー名」「ポート番号」「通信の暗号化方式」「ユーザー名」が同じお客様がいた場合に、上記の不具合が発生することを確認しました。同日 21 時 30 分に上記の不具合を解決する、緊急メンテナンスを実施いたしました。

### 5. 不具合の現象

**kMailer** の **SMTP** サーバー設定として、**SendGrid** の二要素認証設定をしている弊社顧客と 1 分単位で同じ時刻にメールを送信した場合に、弊社顧客の認証情報を利用してメールを送信していた可能性がございました。そのため、弊社顧客 18 社の **SendGrid** 内に、メール送信のログ情報としてお客様の情報が流出した可能性がございました。

現在、その不具合は改修しております。

現在、流出した可能性のあるメールとその件数について調査をしております。また、同時に流出先のお客様には対象期間中の **SendGrid** 内の **Activity** 情報を保存しないようお願いを進めております。

## 6.本件による当社の業績への影響

現時点で当社の業績への影響は軽微と考えておりますが、改めて開示が必要な場合には、別途速やかにお知らせいたします。

皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、改めてお詫び申し上げます。

再びこのような事態を発生させることがないよう、より一層の管理体制の強化に努める所存です。

以 上